

海外技術協力実務研修会-2
-第27回ベトナム・フォードンの会-

開催記録

公益社団法人日本技術士会
技術士海外活動支援委員会
記録：松隈裕之

1. 行事名、開催日、場所、参加者、配布資料

演題	ー海外技術協力実務研修会-2 第27回ベトナム・フォードンの会ー
開催日、時間、場所	2026年6月27日(金) 15:00~17:00 会場(機械振興会館6階 6D-3会議室) およびオンライン配信
参加者	講演者:2名 聴講者:47名(会場9名、オンライン35名)
配布資料	『海外技術協力実務研修会-2(第27回 ベトナム・フォードンの会)』

2. 概要

司会 委員長 開会挨拶 15:00~15:05	松隈裕之 海外活動支援委員会 細谷佳弘 委員長 1) 講演開催の挨拶 2) 講演者の紹介 講演1「ベトナム鉄鋼から海外へーグローバル展開へ」 講師 ゲン・ブアン・ナム氏 ダイユン金属製造建設貿易(株) 海外営業課長 講演2「ラムドン省ダラットにおける地すべり工事(集水井戸)について」 講師 菅野孝美氏(技術士:建設、応用理学) 川崎地質(株)執行役員 北日本支社長	 開会挨拶の細谷委員長
講演1 15:10~15:55	講師: ゲン・ブアン・ナム氏 ダイユン金属製造建設貿易(株)海外営業課長 ーベトナム鉄鋼から海外へーグローバル展開へー (ベトナムからオンラインで講演) 同社の会社概要を基に講演をされた。同社は1995年に設立され、造船、オフショアモジュール、高層建築物・工場・物流施設・港湾・空港・道路・風力発電施設などの建設、設計コンサルティング、鉄骨・メッキ構造物などの製作、EPC請負事業などを展開。現在、ベトナム国内に6工場、従業員数6,000名、輸出実績国60か国、製造能力年間50万トンを有する有力鉄鋼建設貿易企業となっている。 質疑応答 1) 講師のナム様は日本に数年間滞在して、積水ハウスなど日本の建設会社で働かれた経験がお有りですが、ダイユンの海外事業展開事例として紹介された日本橋のプロジェクトなどに関わられておられましたか? → 様々なチャネルがあり今回は商社からの紹介があった。 2) 使用する鋼材などは国産を使用するのか? → 使用する鉄骨などは、中国、韓国、台湾、日本などから購入している。	 ダイユン金属製造建設貿易(株)のHP

講演 2 副委員長 閉会挨拶 17:03～17:05	講師：菅野孝美氏（技術士：建設。応用理学）川崎地質㈱ 執行役員 北日本支社支社長 - ランドン省ダラットにおける地すべり工事（集水井戸）について - （本講演の事業は国土交通大臣賞：都市分野を受賞） ラムドン省の地すべり災害対策事業をホーチミン工科大学と協同で2021年1月～2022年12月の間の工事を受注された。コロナ禍で様々な困難に見舞われる中、無事工事完了し現地メディアでも大きく報じられた。ベトナム政府発注事業の特徴として、①日本企業独自技術でないと落札は困難。②入札に係る事前調査・工事費用は落札後に支払いとなる。落札できなければ持ち出しとなる。③入札が複雑で日系企業には無理。入札に精通した現地企業との協同が必要不可欠。④模倣できるものは複製される。ベトナムへの技術供与が有利。⑤製品や技術が日本のものであることを証明する必要がある。⑥入札後の施工管理業務は発注者から現地会社が入札によって決まり、検査も行う→ベトナム人スタッフの対応が必須。国民意識が強く出るためこれが意外と難しい。 質疑応答 1) 国内と海外との施工方法の違いは？ → 日本は設計・調査・施工は別々に行いますが、ベトナムでは一括で行う。 2) 今回発表されたような工事は、他の場所でもあるのか？ → 日本から材料を輸入しなければならないことから、今回のようなケースはないと思う。 3) ベトナムの地盤の特徴は？ 排水処理（街の整備状況）は？ → 地下水が浅く、玄武岩で水分多い。特に浅い部分はごみ地盤の層である。排水処理がうまくいっていない。常時ポンプアップする必要がある。全体的に動的強度が弱いことが施工していて感じた。 4) 機械部門の水力の工事専門の方から、ベトナムでの責任分担について → 施工の最終責任は施工側にあるが、保証制度が別にあり今回は7割3割の責任分担となっている。 5) ベトナムでは日本のような事前に調査するなどの工法は取られているのか？ → ベトナムでは日本で行っているような地質調査は行っていない。 6) 地元企業や工事作業員への安全教育についてはどのように？ → 特に地元の作業員については少数民族だったので、最初は日本流の作業は受け入れられなかった。我々が見本となることで、徐々にヘルメットをかぶる、長靴を履くなど慣れてきた。 海外活動支援委員会 永野澄 副委員長 フォードンの会の目的は、①ベトナム人技術者とのネットワーク維持、②会員・非会員のためのIPD、CPD研修の提供である。 閉会
収支	1) 収入 45,000 円 会員 42 名 x 1,000 円 = 42,000 円、非会員 2 名 x 1,500 円 = 3,000 円 2) 支出（講師謝礼・交通費） 講師 1 : 33,220 円 + 講師 2 : 5,000 円 = 38,220 円



（下段は国土交通大臣賞受賞持のリーフレットより）

（以上）

令和8年度 海外技術協力実務研修会—2

「海外技術協力実務研修会-2」第27回ベトナム・フォードンの会

参加アンケート結果（アンケート回答者：22名）

I. アンケートの全体構成

1. 参加者の基本情報に関する質問 参加者の属性を把握することで、今後の講演会企画や、セグメント別の分析に供する。(1) 年齢、(2)会員種別、(3)技術部門、(4)業種、(5)講演会を知った理由、(6)参加動機
2. セミナー全体の満足度評価に関する質問 講演会全体の満足度を測ることで、総合的な評価を把握する。5段階評とする (7)講演 1、(8)講演 2
3. 講演内容の具体的評価に関する質問 セミナーを構成する個別要素(内容、講師、資料、時間など)についての評価を収集することで、改善すべき点を把握する。(9)印象内容・役立内容、(10)講演時間
4. 業務への活用意向に関する質問 講演会で得た知識やスキルを実際の業務にどう活かせるかを質問することで、講演会の 実用性や有効性を測定する (11)業務に役立つ程度
5. 改善点・要望に関する質問 参加者からの改善提案や要望を集めることで、次の講演会の品質向上につなげる (12)改善点、(13)テーマ、(14)運営面
6. オンラインセミナー特有の質問
オンライン講演会の場合は、通信環境や操作性など、対面セミナーとは異なるため、その評価を把握する。
(15)視聴環境、(16)トラブル

Ⅱ.アンケート集計結果

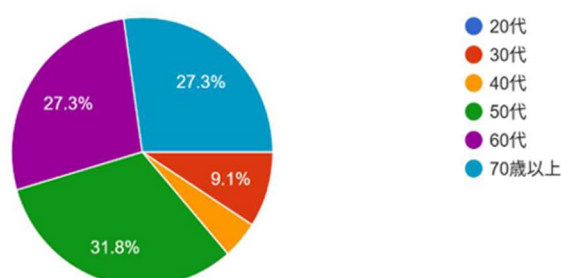
(1) 参加者の属性(回答者は参加者の 19 人が技術士会員で、非会員は 3 人であった。)

Q1. あなたの年齢を教えてください。

50 歳代が全体の 31.8%と最も多く占めており、次いで 70 歳代、20 歳代順に多くなっている。50 歳代以上が全体の 86.4%を占めている。

Q1. あなたの年齢を教えてください。

22 件の回答

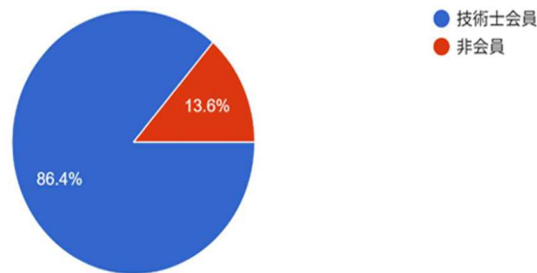


Q2.あなたの会員種別を教えてください。

19 名（86.4%）が技術士会員で 3 名(13.6%)が非会員でした。

Q2. 技術士の会員種別を教えてください。

22 件の回答

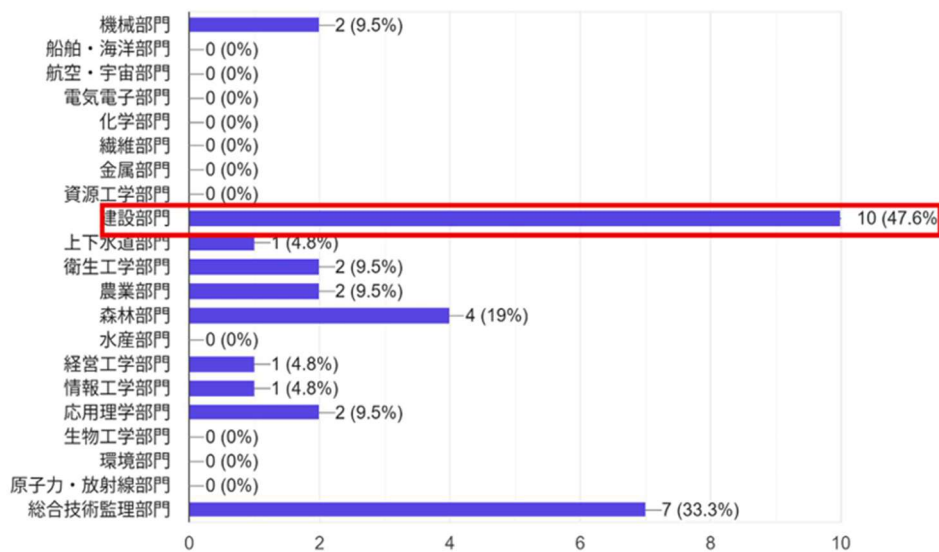


Q3. 技術士の方は技術部門を教えてください（複数回答可）。

建設部門が 10 名（47.6%）と最も多く、次いで総合技術監理部門 7 名（33.3%）、森林部門が 4 名（19%）、その他 11 名となりました。

Q3. 技術士の方は技術部門を教えてください（複数回答可）。

21 件の回答

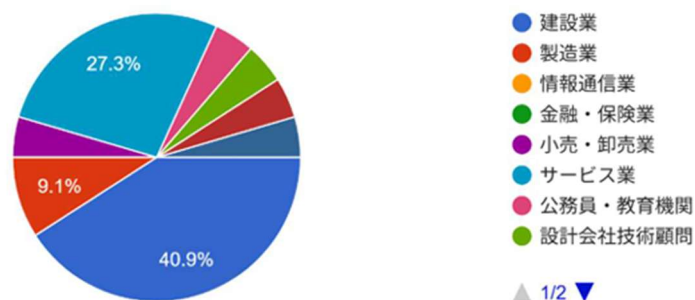


Q4. あなたの業種を教えてください。

建設業が最も多く 9 名（40.9%）、次いでサービス業が 6 名（27.3%）となっており両業種で 15 名（68%）となっている。

Q4. あなたの業種を教えてください。

22 件の回答

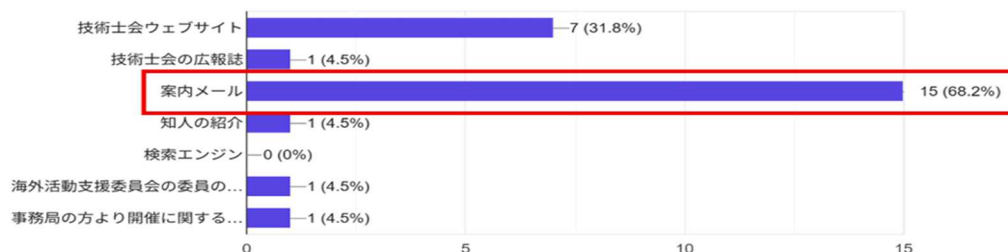


Q5. 今回の講演会をどこで知りましたか？（複数選択可）

案内メールが 15 名(68.2%)と最も多く、技術士ウェブサイトが 7 名(31.8%)であった。集客戦略として案内メールが有効である。

Q5. 今回の講演会をどこで知りましたか？（複数選択可）

22 件の回答

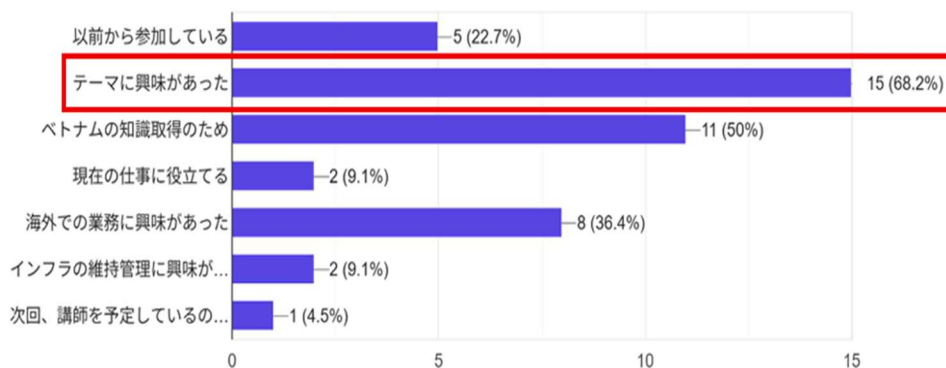


Q6. 参加しようと思った動機について教えてください（複数選択可）

「ベトナムの知識取得」、「テーマに興味があった（ベトナム）」が最も多く、ベトナムに対する関心の高さがうかがえる。

Q6. 参加しようと思った動機について教えてください（複数選択可）

22 件の回答



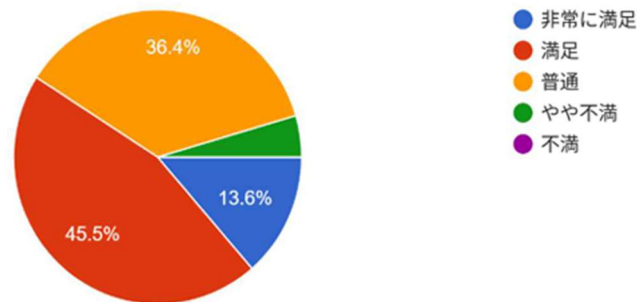
2. セミナー全体の満足度評価

Q7・8. 本日の講演会の満足度を教えてください

満足度評価：講演1で満足度が59.1%、講演2で満足以上が80.7%を超えており、満足度の高いセミナーとなった。

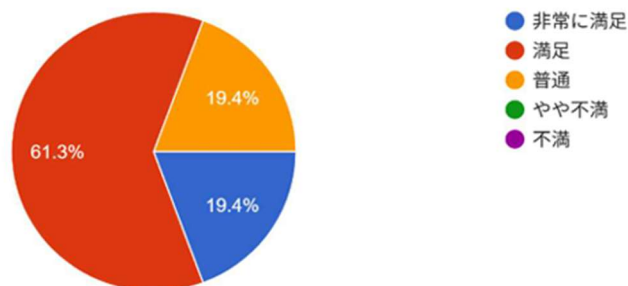
Q7. 本日の講演会の満足度を教えてください【講演1】

22 件の回答



Q8. 本日の講演会の満足度を教えてください【講演2】

31 件の回答



3. 講演内容の具体的評価

セミナーに対する印象および役立つ内容

Q9 本日のセミナーで最も印象に残った内容・役立った内容は何ですか？

18 件の回答

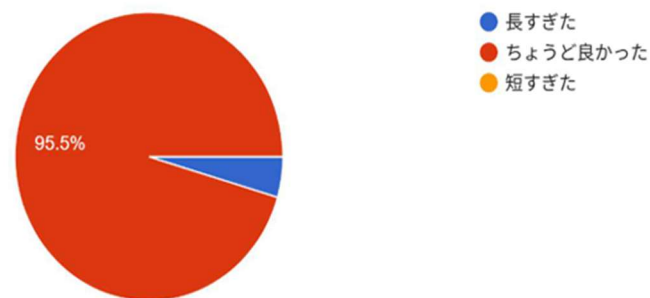
- ・失敗談、現地受注の難しさの話等
- ・昨今のベトナムの状況
- ・ベトナムで初めて集水井の設計・施工を行い、現地行政機関の防災に関する考え方を改めることができたこと。
- ・ベトナムと日本における調査、設計、施工の進め方の違い
- ・講演2の現地ならではの様々な苦労話

- ・ベトナムでの建設工事現場対応
- ・ベトナムの鉄鋼加工の海外輸出状況
- ・地元との連携
- ・ベトナムでの集水井施工の困難さ
- ・ベトナムの経済成長と今後の市場拡大の可能性
- ・ベトナムの鉄鋼会社一社で 50 万トンも製造していて工場の規模の広さに驚きました。
- ・日本の地すべり対策工法をベトナムへの導入プロセスが印象に残りました。日本では普遍的な技術でも、

Q10.セミナー時間

Q10. セミナー時間（2 講演 120 分）は適切でしたか？

Q10. セミナー時間（2講演120分）は適切でしたか？
22 件の回答

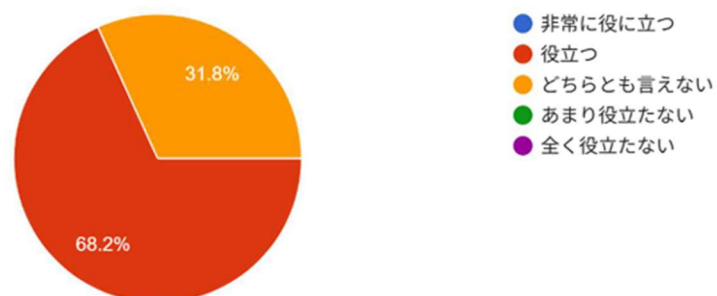


4. 業務への活用意向に関する質問

Q11. 本日学んだ内容は、あなたの業務にどの程度役立つと思いますか？

今後の業務への展開：今後の業務に役立つとの回答が 68.2%あった。

Q11. 本日学んだ内容は、あなたの業務にどの程度役立つと思いますか？
22 件の回答



5. 改善点・要望に関する質問

12. 改善点

Q12. 講演会の満足度を上げる改善点があれば教えてください（講師、開催時期、時間など）

- ・ 事前に要望などを集めておく。
- ・ 1つめの講演は企業のPRに留まり、残念ながらそれを超える技術的な内容ではなかった。もう少し技術者のアプローチの話が聞きたかった。
- ・ はじめの音声が聞こえず、事前のテストをしっかりとっておいて欲しい。
- ・ 時々日本語が不得手な場合には分かりにくいので、通訳がいた方がいい。
- ・ 動画再生時に講師が補足説明をしていたようですが聞こえずらかったです。事前確認いただければさらに満足度の高い講演になると思います。
- ・ 動画は通信トラブルのリスクもあるので日本の会場の方で放映するなどしてはどうでしょうか？
- ・ 送られて来た資料だけでなく、講演で流して頂いた資料も送って頂ければ有難いです。宜しくお願いします。
- ・ 講演中の画面、音声が途切れたり、映っていない時がありました。また、ベトナムの方とのやりとりで、日本語が理解しきれていない部分があった様に見えました。通訳などのサポートがあっても良かったのかなと思います。
- ・ 事務局の対応があまり良くなかった。
- ・ 講演1の内容はベトナムの1企業の会社紹介であり、宣伝(利益供与)になっていませんか。公益社団法人のセミナーとしていかがなものかと思います。
- ・ ベトナムの一般的な土木工事についても事例があれば講演して頂きたい。

13. 講演のテーマ

Q13 今後、参加してみたい講演会のテーマがあれば教えてください。

- ・ 海外の製造業への支援 ・ 海外でのインフラ事業
- ・ 海外での建設工事現場対応
- ・ シンガポール、フィリピン、インドでの活動事例
- ・ 衛生工学的な講演会があれば出席したいです。
- ・ ベトナムに関する建設コンサルタント業務。
- ・ ベトナムの商習慣や文化を知りたいと思っています

14. セミナー運営

Q14 セミナー運営面（申込方法、案内、スタッフ対応、会場設備等）で改善すべき点があれば教えてください。

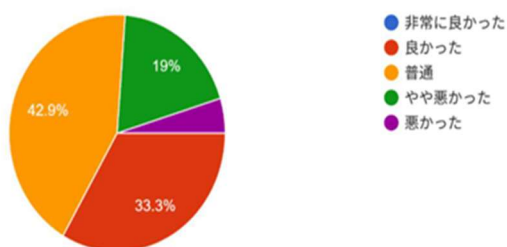
- ・ 話題提供者以外のマイク OFF を徹底頂きたい。
- ・ オンラインスタート時をスムーズにして頂きたいです。
- ・ 講演中の画面、音声が届かなかったり、映っていない時がありました。また、ベトナムの方とのやりとりで日本語が理解しきれていない部分があった様に見えました。通訳などのサポートがあっても良かったの かなと思います。

6. オンラインセミナーに関して

Q15. 視聴環境

視聴環境についてはほとんどが良好であるとの回答であるが、5 人が悪いとの回答があった。

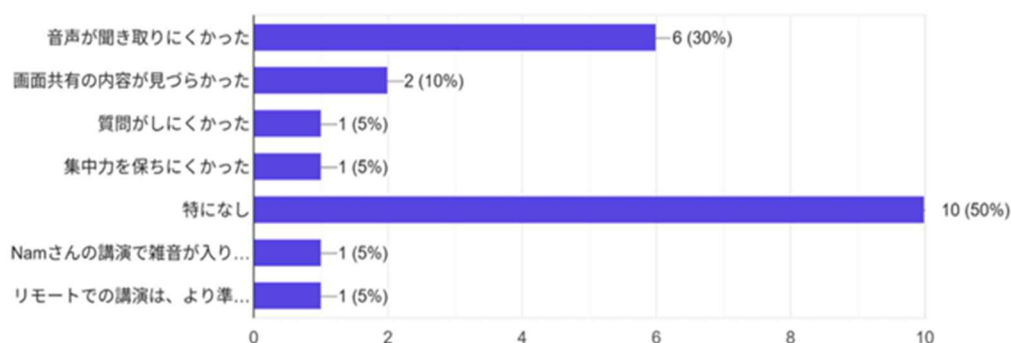
Q15. オンライン配信の視聴環境はいかがでしたか？
21 件の回答



Q16. オンラインセミナーで困ったこと

音声が聞き取りにくかったとの回答が 6 件あった。それ以外は特に問題なし。

Q16. オンラインセミナーで困ったことがあれば教えてください。（複数選択可）
20 件の回答



(以上)